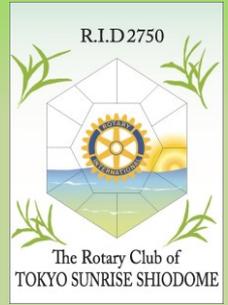


◆ WEEKLY REPORT ◆



イマジン
ロータリー

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-23 年度 会長 鹿島孝夫
クラブテーマ「Stand By You」

No.328 18 May. 2023 発行

第332回 通常例会

【日時】2023年5月11日(木) 12:30~13:30

【例会会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留

【例会出席】会員数 16名 名誉会員 6名 出席者 12名 ビジター 0名 ゲスト 5名

【出席率】75.0%

【ニコニコBOX】¥14,000—

《プログラム》

◇ 開会点鐘

◇ 斉唱：「国家」「我等の生業」

◇ 会長挨拶

私達のクラブは人数が少ないのですが、活動は素晴らしい事をやっていると自覚していますので、どんどん仲間になって頂ければと思います。私の任期はあと少しですが盛り上げて頂ければと思います。

◇ 幹事報告

トルコ・シリア支援金のお礼が届いています。先日新しいローターアクトクラブが出来上がり、例会に会長と参加してきました。

◇ 出席報告

◇ ゲスト・ビジター紹介

立堀貴子様：主人が大変お世話になっております。本日は友人の池田さんの卓話をお楽しみください。

黒子伸作様：私は貨物の運送業をしております。杉崎さんとは学生時代からの親友でございます。皆さんとお会い出来たので、親睦を深めていきたいと思っております。宜しくお願いします。

大野陣様：五十嵐さんと共通の友人のご紹介で参りました。弊社はブランディングの仕事をしております。伝わりづらい会社の理念等を芸術家さんと一緒に絵にしてお伝えしていく会社です。本日は宜しくお願いします。

司 会：熊谷行裕会員
鹿島孝夫会長

鹿島孝夫会長

蛭谷要之介副幹事

◆ 会長：鹿島孝夫 ◆ 幹事：梅澤武男 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南)エルーデ内 / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

劉漢玉さん(23年度米山記念奨学生)：中国湖北省の出身で現在日本大学文理学部教育学科に在籍しています。途上国の教育開発について興味を持っています。学校の国際ボランティアサークルに所属して、フィリピンの子どもたちの支援を行っております。どうぞよろしくお願い致します。

◇ にこにこ BOX

立堀佳男会員

鹿島孝夫：池田様、今日はよろしくお願い致します。

梅澤武男：池田様、本日の卓話宜しく致します。黒子さん、大野さん、ようこそおいで頂きました。楽しんでください。

熊谷行裕：5月5日の能登地震は事前に情報を流す事が出来て余地が結構当たりましたが、今朝の千葉の地震は分からなくてがっかりでした。地震予知はまだ道半ばです。

立堀佳男：5月から10月までクールビズです。ノーネクタイでOKです！にこにこ！

山本直道：GWはあっという間に終わってしまいました。5月も充実させていきたいです！

杉崎吉則：黒子さん、本日は有難うございます。よろしく致します。

飯坂晃：リュウカンギョクさん、今日は楽しんで下さい。池田様卓話楽しみにしています。

◇ 委員会報告・その他の報告

杉崎吉則会員：6月22日の納会の出席をお願い致します。

◇ 卓話『熊の住む山の保全』

日本クマ森協会 埼玉県支部長 池田幸代様

私がクマ森協会に入ったきっかけはニュースで熊が殺されて悪者にされているのがおかしいと思い検索したらそれが違うという事が分かったからです。クマ森協会は中学生が初めた活動がきっかけです。冬眠しているはずの痩せた熊が里に下りてきて殺されてしまった事があり原因を調べると杉檜だらけで餌が無いという環境破壊が分かりました。最初のコンセプトは広葉樹の広がる元の山に戻すという事でした。虫も住まない、すると鳥も動物も住めない山ばかりが出来上がってしまっています。人工林を放置している山も沢山あり土の保水力も悪く土砂崩れの原因になっていたりしています。我々は林業に物申しているのではなく、放置されている場所を自然林に変え山と森を保全していきたいと思っています。一時期熊を殺しすぎた為現在は絶滅寸前に迫っています。昔日本狼が絶滅して生態系が崩れてしまい、鹿が増えすぎてしまったように、熊がこのままいなくなってしまうとまた更に生態系に影響が出てしまうのです。そして田舎の知識の無い人たちと場所が大企業に狙われ、山をやりたい放題去ってしまう事が起きていて、我々が中心になって小さな組織を繋いで対抗できるようにも活動しています。我々はロビー活動もしています。それには会員数が必要であったりもします。遠い森の話して終わってしまいがちなのですが、私が思うのは、皆さんに身近な所に目を向けて頂きたいと思っています。開発は大切ですし必要です。しかしちょっと気を配る事で改善されていくと思うのです。蛙が登れるコンクリートの壁にしたり、焼けるように熱くなるアスファルトの上を歩かなければならないカルガモにも少し興味を持って考えて頂ければと思います。雨上がりにミミズが出て来てしまったら土に戻してあげる、入り込んでしまったトンボを外に逃がしてあげる、そういう大人の姿を見せる事によって子供達が優しい大人になれるようにして欲しいと思います。



立堀貴子様



大野陣様



黒子伸作様



劉漢玉さん



◇ 講評

鹿島孝夫会長

池田様、有難うございました。私は建築を仕事にしていますので開発をする側なのですが、それぞれの立場の人たちが相手に優しくなれるかどうかが一番始めにあってそれぞれの仕事が出来れば良いのかなと思いました。

◇ 開会点鐘

鹿島孝夫会長

《今後の主な行事予定》

◇ 6月22日 納会(夜間例会)

《今後の例会スケジュール》

◇ 5月25日 12:30~13:30
 ◇ 6月 1日 休会
 ◇ 6月 8日 12:30~13:30